

「生きる喜び」を共感しあえる高度な医療を提供し地域に貢献

医療法人藤井会 大阪府東大阪市

医療法人藤井会は東大阪市を中心に石切生喜病院など9つの医療施設と3つの介護施設を運営する従業員2,057名の医療法人である。

平成29年4月には香芝生喜病院をあらたに開院し、奈良県に医療法人藤井会として初めて医療サービスの提供を開始した。「地域に高度な医療を提供していく」との考えのもと、医療設備と医療スタッフの充実・強化を図ることで、地域の人々に満足される病院づくりに邁進している。

「愛情・信頼・奉仕」の3つの言葉を永遠のテーマとし、「生きる喜び」を共感しあえる医療・介護機関を目指している。

会社概要



会社名：医療法人 藤井会
所在地：大阪府東大阪市弥生町18番28号
電話：072-988-3037
FAX：072-988-3027
創業：1969（昭和44）年5月
設立：1980（昭和55）年2月
代表者：理事長 藤井 弘史
基本財産：1億800万円
従業員：2,057名（うち常勤医師165名、看護師690名）
事業内容：医療、介護事業
URL：<http://www.fujiikai.jp/>

東大阪市を中心に高度な医療を提供

医療法人藤井会は会長の藤井弘一氏（前理事長）が東大阪市内で昭和44年5月に藤井医院を開院したことが始まりである。昭和49年4月に藤井外科病院を開院。昭和55年2月には医療法人藤井会を設立し、昭和57年7月にはグループの中心病院である石切生喜病院を開院。同病院は当初159床であったが、病棟を増やし現在は5病棟331床の大病院となっている。診療科も、外科だけでなく内科、耳鼻咽喉科等25科まで増え、外来患者数も1日1,200人～1,500人にのぼっている。

また、がん治療にも力を入れており、最先端の医療設備を導入し「大阪府がん診療拠点病院」の認定を受けている。

会長は、病院経営を行うにあたり開院当初から、「患者さんに信頼されるドクターやスタッフを確保することが、医療で地域に貢献することにつながる。そのためには、大学からドクターや優秀な研修医が来てくれるよう、病院を一定規模に大きくすることが必要である。優秀なスタッフのもと病院の質が向上すれば、多くの患者さんにより高度な医療を提供できる」と考え、積極的に病院の拡張や新たな病院の建設、医療設備への投資を行ってきた。

平成29年4月に就任した藤井弘史理事長は、「平成16年に研修医制度の改定があり、どの病院も医療を担う常勤医師や当直医が不足し、厳しい状況にあった。しかし当病院は最先端の医療設備を積極的に導入していたこともあり、苦しい時でも若い医師が当院を選択してくれた」と当時のことを振り返る。地域への高度な医療の提供を最優先に考え病院経営を行ってきた結果と言える。

現在では東大阪市を中心に9医療施設、3介護



石切生喜病院

施設を運営し、医療法人全体で年間 80 万人の患者を診療しており、地域に必要不可欠な存在となっている。

奈良県香芝市に県内初となる病院を開院

平成 29 年 4 月に同会は香芝生喜病院を開院した。会長は奈良県川上村出身で現在も奈良県内に居住、奈良には愛着が深く、「いつかは奈良に病院を作り、地域に貢献したい」との強い希望を持っていた。最初の病院開業から 40 年以上の年月を経て、今般、奈良県に病院を開設した。

香芝市、葛城市などの中和地区では救急医療の行える病院が少ないことから、開院後半年を経っていないものの、月 200 件程度の救急患者を受け入れており、救急病院として十分な機能を果たしている。

香芝生喜病院のスタッフは約 350 人いるが、その 7 割は奈良県在住者であり、奈良県の雇用活性化にもつながっている。

香芝市、葛城市とも子育て世代が多い地域であることから、グループ病院で初めて小児科を設置し、医師と患者の信頼関係のもと、患者に選ばれる来院しやすい病院づくりに努めている。



香芝生喜病院

今後の同病院について「365 日、24 時間体制で救急病院として医療の提供に努め、香芝市、葛城市などの中和医療圏だけでなく西和医療圏等近隣医療圏の救急患者も受け入れ、地域の医療ニーズに応えていく。また、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病等の専門医を置き、より質の高い医療

を提供する。そして、子育て支援を図るために、職員の子どものための院内保育所を開設し子育て中の医療資格者の復職を支援していく。さらにあまり例のない病児保育にも新たに取組んでいきたい」と藤井理事長は考えている。



10 月開設予定の介護施設

「生きる喜び」の共感を目指して

同会の基本理念に「愛情・信頼・奉仕」の 3 つの言葉がある。これは、地域の人々に親しまれる施設であるためにスタッフ全員で決めた言葉だという。この 3 つの言葉を永遠のテーマとし「生きる喜び」を共感しあえる医療・介護機関を目指している。「生喜病院」という病院名もこの理念に由来している。

会長は「医療は教育と同じように人間社会の中で欠くことのできない機能であり、本来地域社会と密接な関連を持っているもの。したがって病院の性格は地域のニーズによって決められる」と考え、地域医療と高度医療の融合を最大目標に置いてきた。藤井理事長も「高度な医療を提供することで今後も地域に貢献していきたい。そのためには、良い医療設備を導入することも大切だが、それ以上に、患者さんと医師の人間同士の信頼関係が大事である。また、これからは、急性期医療、救急医療だけでなく、医療ニーズの高い方を対象とした介護事業にも力を入れていく。平成 29 年 10 月にはあらたに介護事業所を石切生喜病院隣地にオープンします」と語る。

「高度な医療を提供していくことで地域に貢献する」という理念の実現に引き続き邁進して欲しい。

(中井正人、島田清彦)